

株式会社 ティー・ワイ・オー



《2016年12月期第1四半期 連結業績のハイライト》

(単位:百万円)

	2015年7月期 1Q	2016年7月 1Q	2016年12月期 1Q	前期 増減率
売上高	5,299	5,454	6,073	11.3%
営業利益	338	△92	308	—
経常利益	354	△113	248	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	207	△133	116	—

	2015年7月 期末	2016年7月 期末	2016年12月期 1Q期末	前期末 増減率
有利子負債*	2,800	2,725	3,575	31.2%
純資産	5,759	6,151	5,918	△3.8%
自己資本比率(%)	38.2	38.4	36.6	—

決算のポイント

- 新規大型案件の獲得・既存案件の大型化等、
広告主直接取引の躍進が全体を牽引したことにより、
売上高は前年同四半期比で618百万円(11.3%)増加。
- 案件受注時からの厳格な精査・選別、収益管理徹底により、
各段階利益は常態に復し、利益を確保。
- 短期借入金による事業運転の資金調達を行ったことにより、
有利子負債は一時的に増加するも、**資金調達コストを抑制。**

* 有利子負債 = 借入金

※ 本資料は「平成28年12月期第1四半期決算短信」の要約資料です。詳細は当該決算短信をご参照ください。

※ 本件に関するお問い合わせ 経営企画部 IR担当 03-5434-1586

※ TYOのより詳細な情報はこちら <http://group.tyo.jp/>

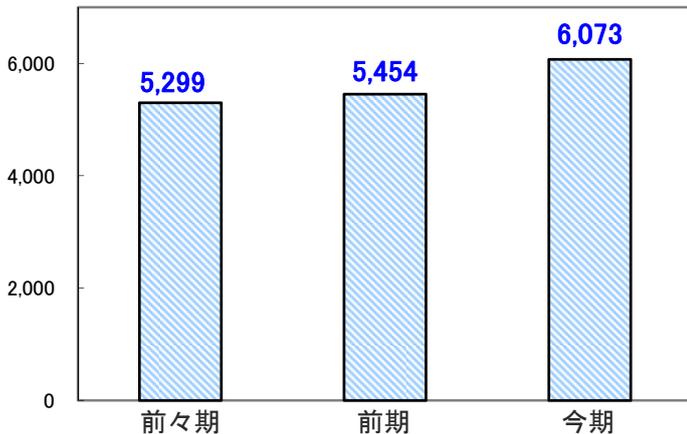
株式会社 ティー・ワイ・オー



連結損益計算書ハイライト

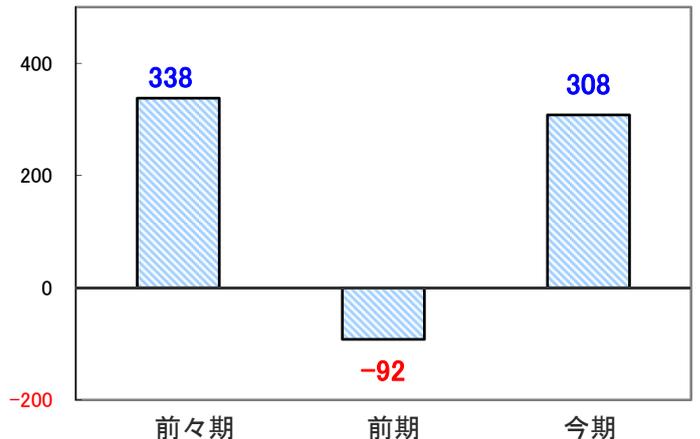
※今期 : 2016年12月期第1四半期、
 前期 : 2016年7月期第1四半期、
 前々期 : 2015年7月期第1四半期

【売上高】 (単位:百万円)



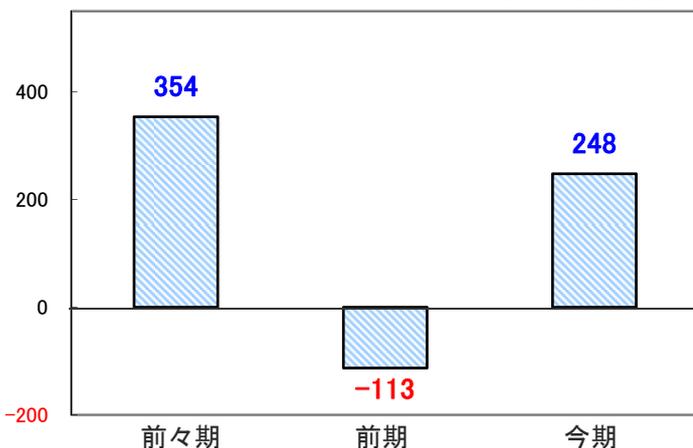
広告主直接取引における案件受注の好調により、
 売上高は前期比で618百万円増加。

【営業利益】 (単位:百万円)



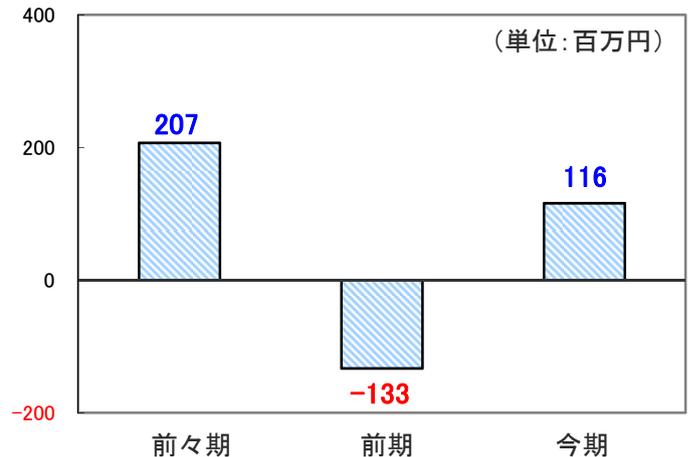
採算性を重視した営業体制の構築により、
 営業利益は前期比で400百万円増加。

【経常利益】 (単位:百万円)



営業利益の増加要因等により、
 経常利益は前期比で361百万円増加。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】



経常利益の増加要因等により、
 親会社に帰属する四半期純利益は
 前期比で250百万円増加。

※ 本資料は「平成28年12月期第1四半期決算短信」の要約資料です。詳細は当該決算短信をご参照ください。

※ 本件に関するお問い合わせ 経営企画部 IR担当 03-5434-1586

※ TYOのより詳細な情報はこちら <http://group.tyo.jp/>

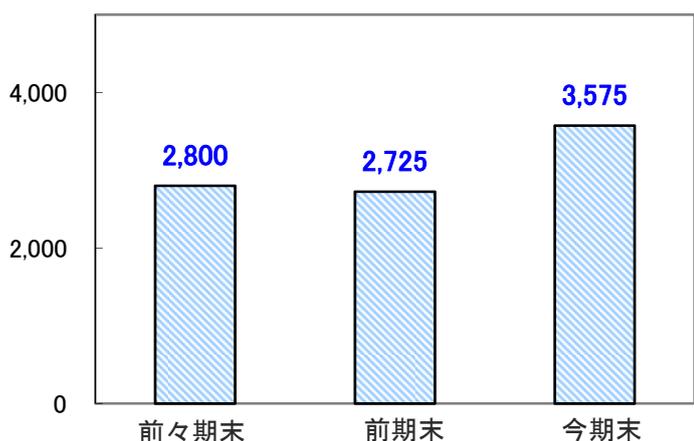
株式会社 ティー・ワイ・オー



経営指標

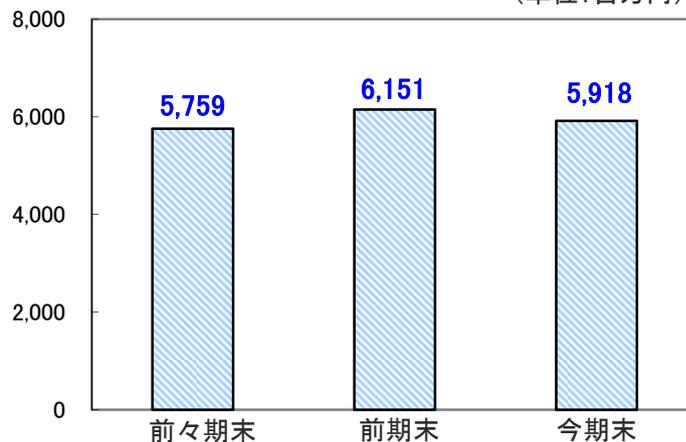
※今期末 : 2016年12月期第1四半期末、
 前期末 : 2016年7月期末、
 前々期末 : 2015年7月期末

【有利子負債*】 (単位:百万円)



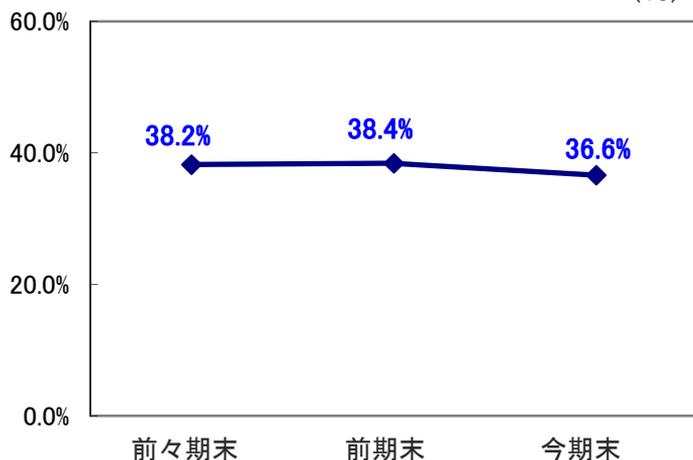
短期借入金計上により有利子負債は増加するも、
 資金調達コストは低減。

【純資産】 (単位:百万円)



親会社に帰属する四半期純利益116百万円を
 計上するも、配当金支払311百万円により、
 純資産は前期末比で減少。

【自己資本比率】 (%)



有利子負債の増加及び純資産の減少により、
 自己資本比率は前期末比で低下。

* 有利子負債 = 借入金

※ 本資料は「平成28年12月期第1四半期決算短信」の要約資料です。詳細は当該決算短信をご参照ください。

※ 本件に関するお問い合わせ 経営企画部 IR担当 03-5434-1586

※ TYOのより詳細な情報はこちら <http://group.tyo.jp/>